



# 山崎しんのすけ

国政ニューズレター vol.02/jan-I

1  
2022

## 1 2022年度予算案は 過去最大107兆6000億円

政府は2022年度一般会計予算案107兆6000億円を閣議決定公表しました。歳出総額は10年連続で最大です。歳入は主な財源となる税収が65兆2400億円程度で、新たに発行する国債(国の借金)は36兆9300億円程度と2年ぶりに抑えました。しかし財源の多くを借金に頼る構図に全く変わりなく、過去最高額の予算案に若干の不安を感じる方も多いことと思います。実際に、令和2年度決算によれば翌年度繰越額は30兆円を超え、不用額も3.8兆円と過去最高でした。賢い支出とは程遠い状況に陥っていると言えます。岸田内閣が発足してまだ数ヶ月ですが、その他にも政策や予算案が、必ずしも国民・納税者のためになるとは思えないものも散見されます。

我が会派では、先の臨時国会で予算組み替え法案等を他党と協力して提出したところですが、これからも真に国民のためになる政策立案に邁進して参ります。



## 2 リニア中央新幹線工事について 国交大臣がJR東海に異例の指導

12月21日、リニア事業を認可した監督省庁の斉藤鉄夫国土交通大臣は、事業者であるJR東海の金子慎社長に対し、「事業を進めるには地域住民の理解と協力を得ること」を改めて指導しました。これは、同省が設置した有識者会議の中間報告を受けたもので、金子社長は「理解と協力を得られるよう努力する」と応じたと聞いています。

私は参議院議員に当選してから約2ヶ月の間に、昭和48年にリニア中央新幹線基本計画決定(運輸大臣)から現在までの着工の経緯等々について、国交省鉄道局から何度も説明を聞きました。また、過去の衆参委員会等での質疑の議事録も調べましたが、日本の国家プロジェクトであるリニア新幹線についての質疑があまりにも少ないことに正直驚いております。国家プロジェクトを前に進めるには国会で丁寧な議論を尽くし、静岡県民はもとより国民の理解を得ることが何よりも重要なことだと思います。あらゆる関係者のためにも、できる役目を全力で果たしていきたいと思ひます。



### 真の目

### 2022年に 向けての抱負

新しい年が始まりました。昨年は収穫と試練に溢れた一年となりましたが、それら全てに感謝し、また糧にして本年を走り抜きたいと思ひます。2022年の抱負は、「有言実行」です。選挙時に訴えたことを行動に移し、まずは7月までの任期以内での職責を全うしたいと思います。そして、その後には参院選も控えています。本当の意味で、私の「真」価が問われることとなりますので、日々の活動を大切にしていきたいと思ひます。

1月下旬からの通常国会では、税制改革に注目しています。特に、岸田総理が力を込めている賃上げ税制をめぐる多角的な議論が求められます。法人税を控除する代わりに賃上げを促していくとする姿勢は理解できますが、これは大企業が目線です。赤字法人が少ない中小企業にとっては、法人事業税や固定資産税の減税措置などがメリットがあります。また、そもそも税制に頼ることなく、企業の労働生産性を高め、労働分配率を大きくする根本的なテコ入れが大切です。そのためには研究開発、人材投資、設備投資に活かしたお金を回していく必要がありますが、政府の考え方はどうでしょうか。ここ30年、我が国は賃金が上がりませんでしたが、幸か不幸か物価も抑えられていました。しかし今、様々な要因で物価高へと向かいつつあります。これ以上、国民の生活が苦しくならぬよう、賃金に関する政策推進は急務だと考えます。

### 国会日程 // SCHEDULE

1月 17日(月) 第208回通常国会開会

### 街頭演説

しんのすけが行く!!

-全県行脚MAP-

静岡県43市区町  
(33市区町+2政令市の10区)

...1月10日現在

